

「もしも」のために、^{いま}今、^{まな}学ぼう。

「もしも」のために、今、学ぼう。

もしも新聞

2022
9
なごやばん
名古屋版



なごやし しょうがくせい みな
名古屋市の小学生の皆さんへ



なごやしちょう
こんにちは、名古屋市長の
かわむら
河村たかしです。

近年、全国各地でたくさん
の自然災害が起こっており、
大きな被害にあっている地域
も数多くあります。

わたくし 住ん でいる 名古
私たちの 住んで いる 名古
やし かこ いせわん
屋市でも、過去には伊勢湾
たいふう ねん とかいごう
台風(1959年)や東海豪雨
ねん たいふう おおあめ
(2000年)など、台風や大雨

おお ひが い わたし こ ころ いせわんたいふう
 で大きな被害にあっています。私が子どもの頃、伊勢湾台風
 あって、まちが一面浸水して、とても大変だったことを覚えて
 います。

こうした災害がまたいつ起こってもおかしくありません。皆さん
のおうちでは、災害に備えて、どんな準備をしていますか？ そも
そもどんな準備が必要かを知っていますか？

さいがい お かんが ひごろ じゅんび
災害が起こったときの“もしも”を考えて、日頃から準備を
たいせつ
しておくことがとても大切です。

今回の「もしも新聞」では、マンガ形式で、小学4年生のマナブくん、ガイド役のソナエくんと一緒に、風水害のときの「もしも」を考えるきっかけを紹介しています。

その一つとして、今回名古屋市で新しく作り直した「ハザードマップ」の見方を紹介しています。

ハザードマップには、皆さんが暮らしている地域の危険な場所
や避難場所などが示されているので、おうちの方と一緒に、確認
してみてください。

災害はこわいものですが、“もしも”を考え、必要な備えをする
ことで、災害による被害を小さくすることができます。

わたし す なごや さいがい まも みな
私たちの住む名古屋のまちを、災害から守るためには、皆さん
ふく なごや く すべ ひと きょうりょく ひつよう
も含めて、この名古屋に暮らす全ての人の協力が必要です。

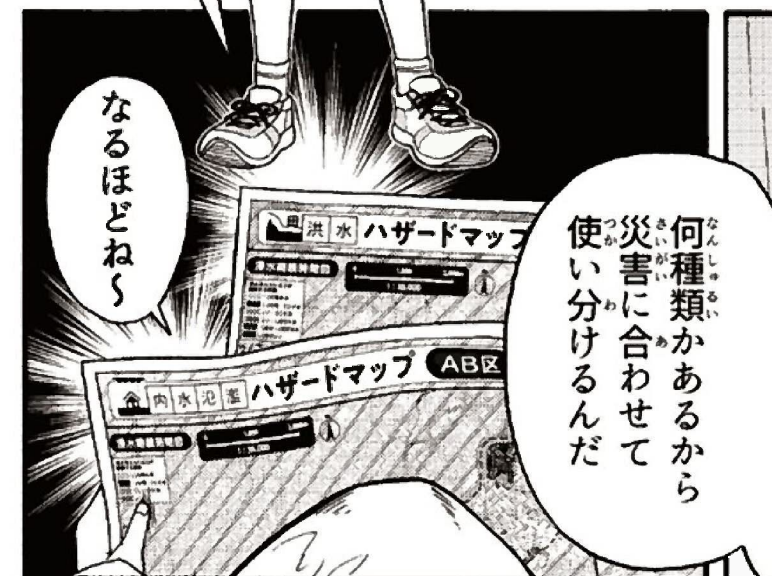
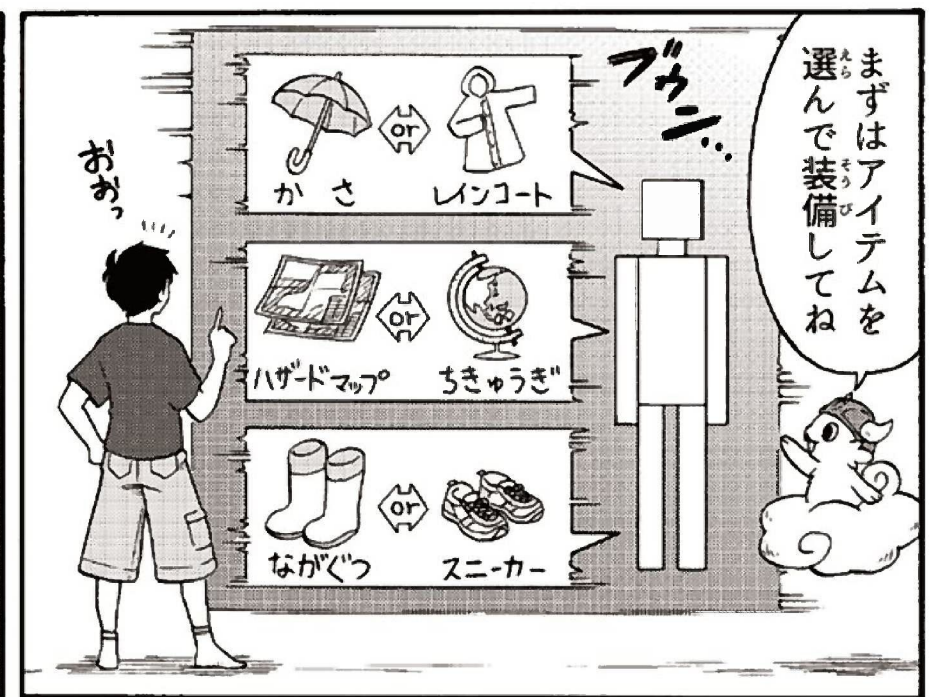
ぼうさい ぶき み じぶん かぜく いのち まも
防災という武器を身につけ、自分や家族の命を守るよう
しんぶん いっしょ まな
「もしも新聞」で一緒に学ぼうやあ！

なごやしちょう かわむら
名古屋市長 河村たかし

もしも新聞 名古屋版【2022年9月発行】

◎協力：名古屋市 ◎発行元：株式会社アクセスプログレス / 株式会社ゲイン

お問い合わせ もしも新聞 編集部 【TEL】 052-589-2051



ハザードマップってなに？

「ハザードマップ」とは災害による被害を少しでも小さくしたり、災害を防ぐために作られた特別な地図です。洪水、内水氾濫、高潮など、災害ごとに複数の種類があり、被災しやすい地域や避難場所などがのっています。

詳しくはP6へ

警戒レベル	避難情報	住民がとるべき行動
1		災害への心構えを高める
2		自らの避難行動を確認
3	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難！
4	避難指示	危険な場所から全員避難！
警戒レベル4までに必ず避難！		
5	緊急安全確保	いのち、きずけ、たぐい、命の危険！直ちに安全確保！

警戒レベルってなに？

警戒レベルとは、災害発生時の危険度ととるべき行動を、1～5の数字で表したものです。レベルに合わせた行動を理解しておきましょう。

風水害の時の服装、×な服装

被災した時に大切なものが逃げる時の服装です。良いと思っていたものが実は危ない！なんてことも。風水害の心配がある時は、次の服装を心がけて。

リュック

レインコート

スニーカー

長ズボン

ながぐつ

半袖

ハンドバッグ

かさ

ながぐつ

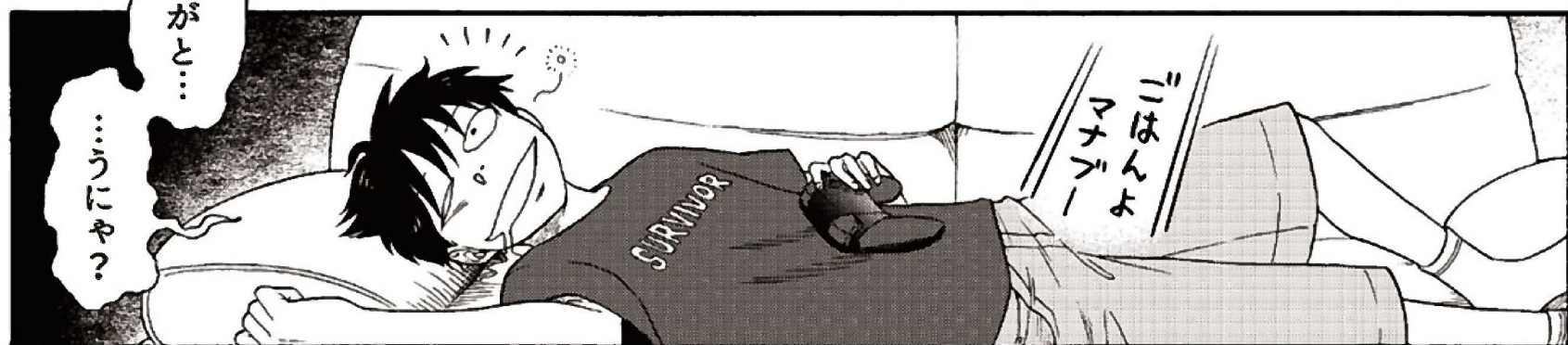
半ズボン

はんそで

半袖

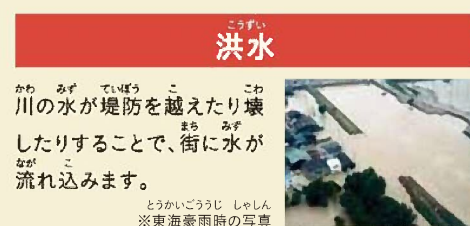
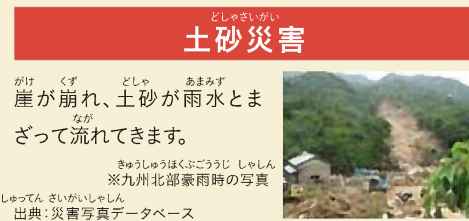
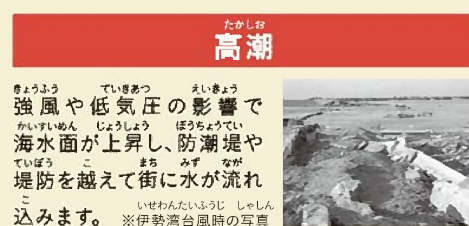
風水害の防災、基本のき

台風や大雨などによる災害とその被害をニュースで見たこともあるはず。今まで自分の周りは大丈夫だったからといって、油断は禁物です。もしもの時にすぐに対応できるよう「風水害」の防災について、しっかり学んでいきましょう。



周りの人を助ける

自分のことばかり考えてしまふ災害時ですが、自分の命が守れたら助ける側にまわることが意識して、「となりの家のおばちゃんに声をかける」「避難所で小さい子どもと遊ぶ」などできることから始めましょう。



「風水害」を知ろう

強い風や大雨などの影響を受ける台風がきっかけで起こるのが風水害です。風水害には、洪水や高潮、内水氾濫、土砂災害などがあります。まずはどのような災害なのかを知っておきましょう。

トランプ、ゲーム、漫画など 避難生活がいつ終わるのかわからないので、退屈しないようにゲームや漫画、カードゲームなどを置いておくのもおすすめです。	ラジオ 電気がなくても使えるラジオは、情報を手に入れるには最適。家族で1台を目安に準備を。ラジオアプリをインストールしておくのも◎。	モバイルバッテリー 災害時は、いつ充電できるかわからないため、モバイルバッテリーは必須。電池容量が大きく、かつ軽いものがおすすめです。	食べ物 缶詰やレトルト食品など、簡単な調理で食べられるものをメインに用意しましょう。常温で保存できるものであればお菓子もOKです。	水 1日1人3リットルが目安。飲む以外の用途で使用する可能性もあるため、水はたくさん準備しておくに越したことはありません。
---	---	--	--	--



前もって準備しよう!

防災に関する準備や知識を紹介した名古屋市の防災ガイドブック。いざ発生した際に適切な行動をとれるよう日頃から読んでおこう。



家族で話し合っ、風水害についてのマイ・タイムラインを作ろう!

「マイ・タイムライン」とは、風水害などが起きてしまった時に、「いつ」「誰が」「どのように行動するか」を時間の流れに沿って考えておくものです。ハザードマップで災害リスクを確認するとともに、いざという時に役立つ「マイ・タイムライン」を家族で一緒に作ってみましょう。

切り取って、保管しておこう!

キリトリ

家族で話し合っ
チェック!

わが家のマイ・タイムライン

- 1 誰と逃げる?** (一緒に避難する人を考えておこう!)

☐ 僕・私は 人家族です。

☐ 一緒に避難するのは です。
- 2 どんな危険がある?** (自宅の災害リスクをチェック!)

ハザードマップで自宅を探したあと、6ページのStep2を見て記入しよう!

☐ 洪水 最大 mの浸水
 ☐ 高潮 最大 mの浸水

☐ 内水氾濫 最大 mの浸水
 ☐ 土砂災害(特別)警戒区域
 ☐ 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 3 どこに逃げる?** (避難する場所を書こう!)

6ページのStep3を読んだあと、ハザードマップで自宅近くの避難場所を探して記入しよう!

☐ 避難する場所は です。

※浸水のおそれがないければ、自宅にとどまることも可能
- 4 いつ逃げる?** (どのタイミングでどう行動するか考えよう!)

警戒レベル1 今後気象状況悪化のおそれ

☐ 用意したマイ備蓄バッグを準備 ☐ テレビやインターネットで、天気予報を確認

☐ 家の周りの飛ばされやすいものを家の中に入れる

警戒レベル2 気象状況悪化

☐ 動きやすい服に着替える ☐ テレビやインターネットで、近くの川の水位、雨量レーダーを確認

警戒レベル3 災害のおそれあり ※高齢者などは避難

☐ 早めに避難開始(例 一緒に暮らすおじいちゃん・おばあちゃんと避難)

警戒レベル4 災害のおそれ高い ※避難指示

警戒レベル4までに必ず避難!

☐ 避難開始 ☐ ハザードマップで災害リスクがないため安全な自宅にとどまる

警戒レベル5 災害発生! または切迫 ※緊急安全確保

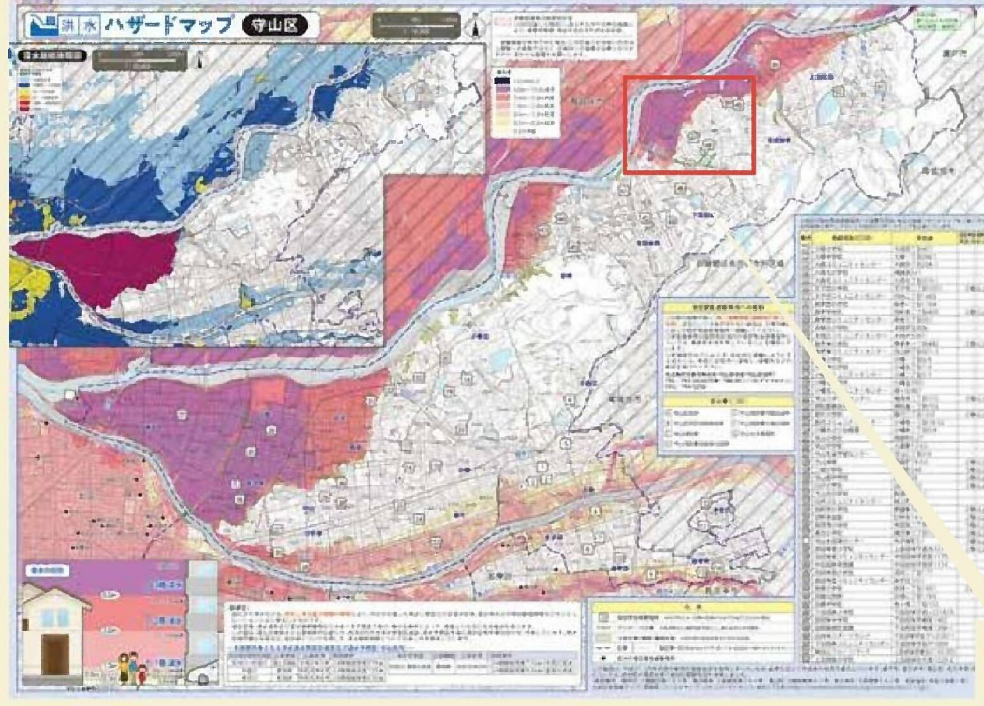
☐ 万が一、避難できなかった場合は、少しでも高いところ、安全なところへ移動



君の街はどんなところ?

ハザードマップでチェックしておこう

避難の目的は逃げるのではなく「生き延びる」こと。近年、様々な場所で頻繁に起きている豪雨や洪水・内水氾濫なども、いつ名古屋で起きてもおかしくありません。そんな時、落ち着いて行動するためにもまずは「知っておく」ことが大切。家族みんなでハザードマップを確認して、自分の身を守る準備をしましょう。





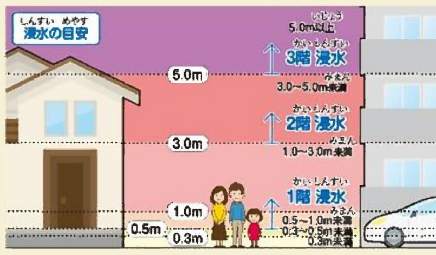
Step1

自分の家を見つけよう!

青い字で書かれているところが、学区名です。まずは自分が住んでいる家を探してみましょう!

Step2 危険度を確認しよう!

自分の家があるところは浸水深で何色になっているか、土砂災害警戒区域などが近くにないかマップで確認を。濃い色になっているところほど、浸水の心配があり危険です。家の周りに潜む危険を確認しておきましょう。



浸水深

- 10.0m以上
- 5.0m~10.0m未満
- 3.0m~5.0m未満
- 1.0m~3.0m未満
- 0.5m~1.0m未満
- 0.3m~0.5m未満
- 0.3m未満

凡 例	
	指定緊急避難場所 命を守るため、災害の危険からまずは逃げるための場所。
	アンダーパス等 大雨が降ると道路冠水を起こし、通行止めとなる箇所。
	土砂災害(特別)警戒区域 土砂災害の発生のおそれがある区域。
	家屋倒壊等氾濫想定区域 家屋が倒壊・流出するおそれがある区域。



Step3

近くの避難場所を探そう!

マップにたくさんある家のようなマークが、災害の危険からまず逃げる指定緊急避難場所。自分の家に近い家のマークを見つけたら、アンダーパスや土砂災害警戒区域を避けながらどのルートで向かうかも確認しましょう。※浸水のおそれがないければ、自宅にとどまることも可能

気をつけたい注意ポイント

- ハザードマップは洪水、内水氾濫、高潮、地震など複数種類があるため、災害に合わせてそれぞれを確認しよう。
- 避難先は近くの小中学校だけではありません。安全な親戚や知り合いの家に避難することも考えてみましょう。

避難する場所には2種類あるよ!

指定緊急避難場所 命を守るため、災害の危険からまずは逃げるための場所(災害の種類ごとに異なる)。

指定避難所 自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間、避難生活を送るための場所。

